

# 平成30年度魚沼市自立支援協議会第1回全体会議事録

日時：平成30年5月24日（木）10：00～11：45

場所：小出ボランティアセンター 一階 多目的室

出席委員：

（障害者団体・家族）

井口正博委員（魚沼市家族会）

大塚貴美委員（新潟自閉症協会連合会魚沼地区分会ぴっころ）

櫻井 忍委員（魚沼市身体障害者福祉協議会）

水野喜美枝委員（魚沼市手をつなぐ育成会）

（障害福祉サービス利用者）

野村正信委員（特別養護老人ホームあぶるま苑）

（相談支援事業者）

勝 高太郎委員（うおぬま相談支援センター）

（障害福祉サービス事業者）

星 喜春委員（魚沼地区障害福祉組合）

佐藤俊道委員（社会福祉法人魚沼更生福祉会）

片桐敦男委員（社会福祉法人魚沼地域福祉会）

渡部健児委員（社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会）

（保健・医療）

滝沢美智子委員（一般財団法人魚沼市医療公社）

（教育機関）

吉橋 哲委員（魚沼市教育委員会）

（企業・雇用）

森山一夫委員（南魚沼公共職業安定所小出出張所）

欠席委員：

（教育機関）

田野辺智光委員（新潟県立小出特別支援学校）

出席委員13名、欠席委員1名

オブザーバー

魚沼地域振興局健康福祉部地域保健課 米山友精神保健福祉相談員

南魚沼地域振興局健康福祉環境部 課長代理 新井田渉

魚沼圏域障害者地域生活支援センターみなみうおぬま 内納静子アドバイザー

魚沼圏域障害者地域生活支援センターかけはし 舘川亘アドバイザー

障がい者就業・生活支援センターあおぞら 中島恵理子就労支援ワーカー

魚沼市教育委員会子ども課子育て支援センター 斎藤勝浩センター長

多機能事業所なないろ 星志織相談支援専門員

## 事務局

魚沼市福祉課厚生室 小島室長、星係長

うおぬま相談支援センター 笹岡相談支援専門員、山之内地活サビ提

### <次第>

#### 1. 開会

出席委員13名、欠席委員1名のため魚沼市自立支援協議会設置要綱第6条第3項に基づき、平成30年度第1回魚沼市自立支援協議会全体会成立、開会。

#### 2. 市役所福祉課あいさつ（小島厚生室長）

#### 3. 委嘱状交付、委員の自己紹介

- ・委嘱状は机上にて交付
- ・委員、オブザーバーの自己紹介

#### 4. 会長、副会長の選任

会長の立候補・推薦を呼びかけるが意見なし。事務局から会長に井口正博委員を、副会長に大塚貴美委員を推薦する提案をし、了承を得る。

#### 5. 報告事項

##### ① 自立支援協議会の仕組みについての説明

山之内地活サビ提より、設置要綱とイメージ図にて説明。

##### ② 魚沼市障害福祉サービスマップ、魚沼市障害福祉計画等の配布

星係長より、サービスマップの配布、魚沼市障害福祉計画等概要版にて説明。

##### ③ 新庁舎建設計画への自立支援協議会の関わりについて

井口会長より、新庁舎ワーキンググループからサイン計画までの関わり合いについて説明。引き続き自立支援協議会としても新庁舎建設に向けて協力をしていくことを確認。

##### ④ 前期(平成28、29年度)の振り返りについて

山之内地活サビ提より、第6期魚沼市自立支援協議会の振り返りを資料No.2にて説明。

#### 6. 議事

##### ① 自立支援協議会の重点目標

- ・地域生活支援拠点の検討、整備
- ・療育支援体制の仕組みづくり

##### ② 今年度の各専門部会の取組と部会等の開催予定について

笹岡相談支援専門員より、①②を合わせた資料について地域生活支援拠点等の整備と療育支援の仕組みづくりについて今年度の重点目標として取り組んでいくことを説明。重点目標は魚沼市の障害福祉計画、障害児福祉計画でも課題としてあげていくので取り組みを進めていく。

## 7. 委員、オブザーバーからの連絡、情報提供等

大塚 貴美 委員：相談支援部会で行う予定の説明会を保護者向けのものもして欲しい。

星 孝子 係長：市役所でも出前講座を行っているので活用してもらいたい。

水野 貴美枝 委員：福祉計画の配布はどここの範囲までするのか。

星 孝子 係長：事業所、委員、ホームページにも掲載予定。

片桐 敦男 委員：地域生活支援拠点のイメージが出来ていれば教えてもらいたい。

勝 高太郎 センター長：住み慣れた地域で生活していきたいという希望が半数以上あることが、アンケートからわかってきた。障害者の地域生活を支えていくための5つの機能を有する必要がある、拠点型や面的支援型などの構想がある。全国的に整備が進んでいないのが現状だが、魚沼市に現在あるサービスに結びつく機能もいくつかあるので整備に向けての検討を進めていく。

## 8. その他

### 8. 閉会

井口会長よりあいさつ

誰もが住みやすい魚沼市をつくっていくためにご協力をお願いします。

## 平成30年度魚沼市自立支援協議会第2回全体会 議事録

日時：平成31年3月6日（水）13：30～15：00

場所：小出ボランティアセンター 研修室

出席委員：

（障害者団体・家族）

井口正博委員（魚沼市家族会）

大塚貴美委員（新潟自閉症協会連合会魚沼地区分会ぴっころ）

櫻井 忍委員（魚沼市身体障害者福祉協議会）

（障害福祉サービス利用者）

野村正信委員（特別養護老人ホームあぶるま苑）

（相談支援事業者）

勝 高太郎委員（うおぬま相談支援センター）

（障害福祉サービス事業者）

大平二美委員（魚沼地区障害福祉組合）

佐藤俊道委員（社会福祉法人魚沼更生福祉会）

片桐敦男委員（社会福祉法人魚沼地域福祉会）

渡部健児委員（社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会）

（保健・医療）

滝沢美智子委員（一般財団法人魚沼市医療公社）

（教育機関）

吉橋 哲委員（魚沼市教育委員会）

（教育機関）

田野辺智光委員（新潟県立小出特別支援学校）

欠席委員：

（企業・雇用）

森山一夫委員（南魚沼公共職業安定所小出出張所）

（障害者団体・家族）

水野喜美枝委員（魚沼市手をつなぐ育成会）

出席委員12名、欠席委員2名

オブザーバー

魚沼地域振興局健康福祉部地域保健課 米山精神保健福祉相談員

南魚沼地域振興局健康福祉環境部 課長代理 新井田渉

魚沼圏域障害者地域生活支援センターみなみうおぬま 南雲アドバイザー

魚沼圏域障害者地域生活支援センターかけはし 舘川アドバイザー

障がい者就業・生活支援センターあおぞら 中島就労支援ワーカー

田村就労支援ワーカー

相談支援事業所なないろ 星相談支援専門員

## 事務局

魚沼市福祉課厚生室 小島室長、星係長

うおぬま相談支援センター 笹岡相談支援専門員、山之内相談支援専門員

### <次第>

#### 1. 開会

出席委員12名、欠席委員2名のため魚沼市自立支援協議会設置要綱第6条第3項に基づき、平成30年度第2回魚沼市自立支援協議会全体会成立、開会。

#### 2. 市役所福祉課あいさつ（小島厚生室長）

#### 3. 報告事項

##### ①就労定着支援事業の開始について

就労定着支援事業報告の資料にて、ひろかみ工芸佐藤所長より説明。

##### ②地域生活支援拠点等への取組について

地域生活支援拠点等への取組について平成30年12月のブロック会議の報告資料をもとに小島室長より説明。最初から5つの機能すべてが揃わなくても、検討しながら進めていけばスタートできることを県から示された。

##### ③ヘルプカードについて

ヘルプカード、ヘルプマークについて、事前配布資料①をもとに勝センター長より説明。9月の県の障害福祉施策推進協議会の会議の時に担当課から説明のあった資料。来年度には周知や活用方法など県から示される予定なので、協議会としても検討テーマにあげていく。

#### 4. 議事

##### ①平成30年度専門部会活動報告

山之内(事務局)より事前配布資料②をもとに報告。

療育支援部会では魚沼市の療育支援体制図を基に、出生時から就学前段階のライフステージの検証を行い、途切れのない支援をしていくための整備を進めていくことを掲げてスタートした。6月からふた月ごとに招集し、全4回開催。第一回では支援機関の顔合わせを行い、機能や役割、現状と課題の確認を行った。2回目以降は相談支援専門員の持つ個別ケースの支援経過報告から生活歴をたどり、部会メンバーで事例検討を行い、課題の確認と整理を行う。子どもの年齢が上がると主に関わる支援者が変わり、細かな情報が途切れてしまうことや、親への支援の重要性や不足の課題が見えてきた。

来年度は現在の療育支援体制図に今年度の部会から見えてきた実際に行われている支援や、関わるタイミングなどの繋がりや線を落とし込み、乳幼児期の支援体制図を整備することと、課題解決に向けての検討、学齢期の支援体制の検証など引き続き療育支援体制の整備に向けて活動していく予定。

就労支援部会では、直B利用に係るアセスメントについて改めて魚沼市の現行の進め方の確認とこれからの方針について、他市の進め方と比較しながら、今年度の進め方を

決めている。来年度は他市の進め方の細かな部分を知る機会を設けて検討を継続していくことや、就労定着支援事業がスタートしての諸課題、就労支援事業所の利用者さんで就労を対象とした人が減ってきていることなどの実情を整理していくことを部会で取り組んでいく予定。

権利擁護部会では、金銭管理の勉強会を魚沼市社会福祉協議会、小出特別支援学校、自立支援協議会の3団体協働で開催。学校の生徒さんと先生、保護者、事業所の利用者さん、支援者が一堂に会して同じ内容で学ぶ勉強会となった。来年度も他機関と共同して解題解決に向けての研修会等を開催していく予定。成年後見制度の普及啓発に向けては大きな研修会ではなく、社協さんに協力してもらって事業所スタッフ向けに出前講座のようなかたちで行って、実際の利用者さんのケースから学んでいく勉強会の開催も来年度以降考えている。

専門部会では今年度取り組めなかった検討テーマもあるので持ち越しの課題として来年度取り組めるようにスケジュールを組んでいく。今年度、専門部会で取り上げられなかった地域生活支援拠点等整備も進めていかねければいけないので、ワーキンググループの動きと合わせて検討を行っていき、進めていく。

専門部会の検討テーマで上がっていた、介護保険などとの分野を越えた情報共有や、支援者の専門性確保、養成は地域生活支援拠点等整備の機能としても必要なもので合わせて検討を進めていく。

#### ②第4期障害福祉計画等の点検評価について

星係長より事前配布資料③をもとに平成27年～平成29年度実績を報告。第5期魚沼市障害福祉計画及び障害児福祉計画においても進捗状況を確認の上、協議会等で報告をしたいと考えている。

#### (質疑応答等)

片桐敦男委員：移動支援事業とは具体的にどのような事業なのか。

星孝子係長：屋外の移動が困難な方に対して、外出をするための支援を行う事業。

勝センター長：かけはしのヘルパー事業の中に移動支援事業というのを提供している。一緒にヘルパーが同行しながら、買い物に行ったり、郵便局や銀行の用事に使っている方もいる。個別やグループ対応など様々なニーズがある。とても便利なサービスだと思うので、利用者が伸びているのではないかと。

渡部健児委員：地域生活支援拠点等整備について。魚沼市については一か所に新たに多機能拠点を立ち上げるよりも、各法人の専門性を有する事業所間が連携する面的整備の方が現状であれば現実的かなと思う。社協の立場として、相談支援事業所については高齢者の地域包括支援センターのような生活上の困りごとに対して総合的に相談にのってくれる場所が必要かと思っている。障害分野の魚沼モデルを検討できる材料となるような先進地事例を学べる機会を自立支援協議会やWGの方で視察も含めて設けていただければと思う。

小島厚生室長：貴重な意見ありがとうございます。今後の協議会等でも実行できるようにしていきたいと思っています。

星孝子係長：十日町市ではこれから基幹相談支援センターを立ち上げると聞いているので、見学等の機会を設けたいと考えている。

滝沢美智子委員：病院からのケース報告。障害の程度がボーダーで障害福祉サービスや相談機関とも繋がらずに歳を重ね、なんとか親の支援で生活してきたが、親が亡くなってから生活状況が低い中で生活していて、体調管理ができず、入院して困る方が増えてきたように感じる。40代後半から60代前半の介護保険サービスに該当しない年齢の方は若い頃から障害福祉に繋がっていないことが多く、体調不良で入院後に退院ができない層の方がある。これから地域生活支援拠点が整備されていく中で、退院支援で相談機能と繋がることになると思うが、今まで介護保険と関連する方が多かったので、介護保険と医療の連携は充実してきたが、障害福祉と医療の連携をこれから充実していかなければいけないと思っている。

田野辺智光委員：手話奉仕員養成研修講座について。入門編と基礎編はどう違うのか。手話奉仕員の活躍の場はどんなところか。

星孝子係長：入門編が初心者向けで、全30回の週1回90分の講座。基礎編はもう少し難しく、日常会話ができる程度までを目標としている。病院の通院や、老人クラブ等で手話を必要としている方に通訳をしている。社協が窓口になっている。

## 5. 委員、オブザーバーからの連絡、情報提供等

米山精神保健福祉相談員：ヘルプマークについて県としての方針はまだ公表していないのでまだなんとも言えない。配布場所として振興局と載っているので、健康福祉部の方で配布することになるかと思う。正式にわかったら次の全体会等で報告します。

星孝子係長：魚沼市の方でもわかり次第、広報等でお知らせします。

櫻井忍委員：新しい庁舎になり、外国の方や障害がある方などいろいろな方が来ると考えられ、職員の質の向上も求められる中で庁舎の職員がある程度、簡単な手話をできるようになれば良いと思う。市民に対しての手話講座だけでなく、職員も手話を勉強する機会をつくってもらいたい。

小島厚生室長：4月に手話言語条例が制定され、魚沼市の職員に条例の周知と手話を使っている方から講演をいただいた。勉強会の開催はすぐに出来るとは言えないが、なるべく期待に沿えるように努力する。

## 6. その他

## 7. 閉会

井口会長よりあいさつ